



GEKKAN ORIMOTO

月刊 織本

1

2013 年 1 月 1 日 Vol.221

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002

東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121

URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



22 名の合唱団が歌った“第 9”

理事長・院長 高木 由利



寒い寒い夕暮れ。病院 4 階の西側の窓一面に紅色の空が広がりました。そしてそこに黒々とした美しい富士山が浮かび上がり、まさに日本画の世界です。あの富士山の向こうに今日も頑張っている先生方がいらっしゃるのだと、思わず足を止め美しい景色に見入ってしまいました。

* * *

あけましておめでとうございます。

12 月 15 日は当院恒例のクリスマスコンサートでした。今年は男性合唱に 2 名の頼もしい団員が加わり、総勢 22 名の合唱団になりました。何年間も手掛けてきた曲に加え、今年は新たに“第 9”に挑戦したので

す。第 9 とは、シラーの詩に

ベートーベンが曲を付けた世界の名曲 No.1 と言われている大作です。正式には「交響曲第 9 番二短調《合唱》 作品 125 シラーの頌歌《歓喜に寄す》」という曲なのです。よく年末には第 9 が歌われ、しかも 100 人とか 1,000 人の合唱団、そして 10,000 人の大合唱が手掛けるようなまさに大作なのです。

織本病院混声合唱団は 22 名。世界一小さな合唱団による第 9 でした。練習期間はおおよそ 8 ヶ月間。毎週月曜や水曜の夜、約 1 時間半の練習でした。音符も読めない、ドイツ語も読めない、小さな小さな合唱団です。私の実姉、クロイツァー涼子が手取り足取り

の指導をしてくれたこと、そして原曲をこの合唱団用に編曲してくれた作曲家、篠田昌伸氏の多大なる努力がなければできなかったことだと私は考えています。

篠田氏のピアノ伴奏で最終練習が始まったのが本番前の数回でしたが、その伴奏の厚みと迫力には足がガタガタと震えてしまい、一体どうやって歌い上げて良いのか分からなくなったのです。それから毎日この伴奏を頭の中で思い起こ



命がけで第 9 を歌う合唱団



し、CD でベルリン放送合唱団の演奏を聴きながら気付いたことがありました。篠田氏の伴奏はピアノ伴奏の域を超え、ピアノでオー

ケストラ演奏をしていることでした。そのことに気付いた瞬間、私はオーケストラボックスの中で歌える幸せを感じ、声が出て心が落ち着き始めたのでした。

世界中の人が第 9 を歌うことを望むのは何故かも考えました。シラーの詩を読みドイツ語の辞書で調べている内にベートーベンが自分の死を意識して作曲したのではないかと

思ったのです。天使達の歌声、何度となく繰り返される言葉“喜こべ”。天国への凱旋を意識した者だけが得られる深い喜びがこの第 9 から学んだ 1 番ステキなことでした。そして更に、画家、グスタフ・クリムトは「ベートーベン・フリーズ」と題し、黄金のベートーベンと合唱団を壁画として残したのです。

極めて希有な世界一小さな 22 名の合唱団の第 9 を聴いて涙を流されたお客様のお顔を拝見しながら、第 9 にしかない天国の喜びを私は体験させて頂いたと感じました。



壁画『ベートーベン・フリーズ』

左：裸の女々しい男女が黄金の甲冑をまとった騎士ベートーベンに助けを求めている
右：喜びを見つけ歓喜の歌を歌う女性達

— 私の外来に通院されている森田純一さんから頂いた短歌です —

- ・ 指揮者との 舞台の人の息が合い ピッタリ揃う 歌の響きよ
- ・ ベートーヴェン この日のために編曲の「第 9」を歌う 初公演なり

ブランドと仕事 ⑬

専務理事・事務部長 箕輪 比呂志



新年あけましておめでとうございます。皆様、それぞれの思いで新年をお迎えのことと思います。去年は、長年、手つかずになっていた外来を中心とした 1 階エリアと手術室の改装が完了し、清潔で綺麗な環境で昨年 10 月の 60 周年記念式典を無事に開催できたこと、そして幸いに、この地域では大きな災害も無く新たな年を迎えられたことにとても感謝をしています。

* * *

2010 年 11 月号から、定期的に月刊織本に「ブランドと仕事」というテーマで投稿してきました。そして現在に至るまで、組織改革、人事異動、最新医療機

器導入、手術室・外来エリア全面

改装などを一気に行ってきました。この 2 年あまりの間に、医師も含めて 100 人規模の職員の入れ替わりもあり、ここでもう一度「織本病院」と「ブランド」を結び付けて「織本病院ブランド創り」を共有したいと思っています。

ブランドという言葉は日本語に直すと、銘柄、商標のことを言い、会計用語では「のれん」というそうです。そう考えると「とらやの羊羹」も日本のブランドのひとつであることは間違い無いでしょう。分かり易く言いますと織本病院を「病院事業のブランド」にしたい

ということです。当院は、既に創立60年の歴史がありますので「のれん」と言えるだけの周辺エリアでの知名度があります。そこで、ここからは「ブランドと仕事」について当院の新たなメンバーに加わった皆さんを含めて一緒に考えてみたいと思います。ブランドとは、企業が確立した顧客吸引力、収益力のシンボルであり看板でもあります。「ブランド力」は、例えば次のようなもので測れます。① 知名度 ② 優れた人材（経営者・従業員）③ 技術力 ④ 老舗 など他企業にない企業価値等です。これらの点で圧倒的な存在感を確立することができているとブランドと呼ぶことができると思います。顧客の視点からは、そのブランドでなければ味わえない体験を約束してくれるのです。例えばディズニーランドは、そこでしか味わえない独特の世界を提供し顧客に深い満足度を約束しています。ここで大切なことは、そのブランドが持つ独自のビジョン、理念を忠実に事業として再現できていることです。このことが「ファンがファンを増やす」という仕組みに

さえなっています。そして、顧客が感じた満足感を従業員が実感できれば従業員に達成感が得られて新たな行動への活力となり得ます。ですから、同じように私達は織本病院の理念とビジョンを忠実に病院業務に再現することが大切なのです。更に、織本病院ブランドを実現するための戦略もあります。ディズニーランドの従業員は、お客様を前に舞台に立っている感覚であり、そこで働くことに誇りを持っているので、笑顔が絶えず、職場に愛情を持っているので掃除も行き届いています。織本病院もこうありたいと思っています。今年も職員一丸となり、実現に向けて目標管理への取り組みを強化していきますので楽しみにして下さい。

当院の1階外来待合エリア近くのティーコーナーの柱に「スターウォーズ」での仕事が評価され、独自のスタイルを確立したハリソン・エレンショーのディズニー絵画が飾ってありますので、しばし鑑賞をして、このことに思いを巡らせてみて下さい。

○ 今月のかべ新聞 ○

低たんぱく食事療法

身体を作る ← たんぱく質 → エネルギー → 水・二酸化炭素・毒素
炭水化物 → エネルギー → 水・二酸化炭素
脂質 → エネルギー → 水・二酸化炭素

代謝産物の出口は？

水 … 腎・肺・腸皮膚から排泄されます。

二酸化炭素 … 肺から排泄されます。

毒素 … 腎からしか排泄できません。

たんぱく質は体の中でエネルギー源として利用される一方、その燃えかすとしていろいろな有害物質が体の中にたまります。この有害物質は腎臓を通して尿中に排泄されますが、腎臓の負担を軽くすることが大切です。炭水化物と脂質はしっかりとることによってエネルギーとして燃えてくれます。そのためたんぱく質は燃えずに栄養にまわります。栄養状態が良くなり体内環境が整います。これを **たんぱく質節約作用** といいます。

低たんぱくの治療用特殊食品

- ① 低甘味・多糖重合体製品：甘味が砂糖の半分です。5倍食べられ、エネルギーアップ！
- ② 中鎖脂肪酸製品：脂質が消化吸収がよく、太らない！
- ③ たんぱく調整食品：たんぱく質含有量を調整した米、めん、パン、小麦粉など
- ④ **でんぷん製品**：でんぷん粉末のみで作られたエネルギーが十分でたんぱく質をほとんど含まない食品

でんぷん製品が重要な理由

- ① たんぱく質・リン・カルシウムをほとんど含まない
- ② 食品素材である
- ③ エネルギー量が十分に多い
- ④ どんな状況でもできる - 主食・おかず・汁物・デザートなど
- ⑤ 殺菌の無駄なたんぱく質をおかずに回せるため、献立が豊かになる
- ⑥ 食事全体のたんぱく質の質（アミノ酸スコア）が高くなり、栄養障害になりにくくなる
- ⑦ 血糖値が上昇しない
- ⑧ 中性脂肪が上昇しない

④ たくさん（いくらでも）食べられる

・由利院長が作ったでんぷん料理



資料：「腎臓病・糖質制限」 土橋 博樹先生
「腎臓病と食事」 土橋 博樹先生
「リストアップ」 21

文責：坂内 繁子

第140回 腎疾患ゼミナール新春特別講演会

美しく老いるために

講師：滝山聖書バプテスト教会

牧師 片村 襟舎 氏

2013 年 1 月 17 日 (木)

12:30 開場 13:00 開演

オリモトホール (当院 4F)

入場無料

糖尿病教室のお知らせ

第 19 回 1 月 8 日 (火)

- ・ 糖尿病をもっと知ろう「①フットケア ②災害時の対応」 講師：看護師
- ・ 糖尿病とインスリン 講師：薬剤師

第 20 回 1 月 22 日 (火)

- ・ 外食の選び方について考えよう 講師：管理栄養士
- ・ 糖尿病に対する運動療法 講師：理学療法士
- ・ 糖尿病の検査 講師：臨床検査技師

時 間：午後 1:00 ~ 1:45
会 場：第 1 会議室 (当院 4F)
参加費：無料
予 約：不要 (直接お越しください)

たくさんの方ご参加をお待ちしております。